

6月初旬の週末、あいにくの雨にもかかわらず今年も恒例となった「田んぼの学校」の田植え作業を無事に終えることができました。思い起こせば近所に住む「学校」の委員長さんからお誘いいただき、私が子供たちと一緒に「田んぼの学校」に参加するよ

「田んぼの学校」に参加して



うになってから、もう5年目の夏を迎えています。「田んぼの学校」では春の田起しに始まり、初蒔き、田植え、水当番、防鳥網掛け、稲刈り、天日干し、脱穀、そして収穫祭では自分たちの育てた「餅米」で餅をつき、赤飯を炊いてお祝いします。また、冬には稲藁を使って藁草履作りまで体験することが出来ます。これら「米作り」に関する一連の

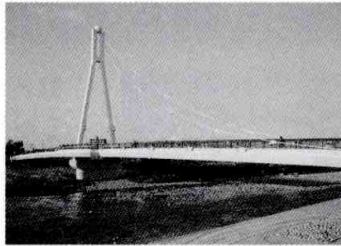
作業を体験すると、私たちが毎日何気なく食べている「お米」がいかに手間隙かけて作られているのか実感できます。そして、「お米」が日本の気候風土を上手に活用して作られるとてもエコな作物であるということも理解できるので、このような「米作り」が

楽しみで自分は無事に「5年生」まで進級できたのだと思う一方で、クラスメートの老若男女？約30名の方々、そして作業指導支援をして下さる農家の「先生」との

交流がこの「学校」のもう一つの楽しみでもあります。地元出身の「先生」や年配の？「クラスメート」からは、昭和初期の日野の様子、泳げるほどきれいだった多摩川、新選組にまつわるエピソード、旬の野菜の話など楽しい課外授業の話題が尽きません。ま

「私の好きな浅川」

～みんなが楽しめる浅川！その魅力が伝わるもの。～をテーマに写真コンクールを開催しています。



浅川が好きで好きでたまらない方、写真のお好きな方、浅川の魅力をご存知の方、もちろん昔の浅川の写真でもかまいません。

浅川の魅力が発信できるワクワクするような写真の応募をお待ちしています。

この事業は、浅川源流から多摩川合流点までをひとつの流域として捉え、日野市と八王子市が良好な流域の水辺環境を創り出し心豊かな流域のまちづくりを目指した連携事業となります。

○募集期間 8月31日まで

○撮影範囲 浅川・南浅川

○写真サイズ A4 (210×297mm)

四つ切り又はワイド四つ切りの組写真は対象としません。

※縦・横・カラー・モノクロの区分はありません。

○部門 ・中学生以下の部 ・一般の部

○応募点数 お一人様3点まで

○応募方法 応募用紙に以下の記載事項を明記した上で、用紙を作品の裏面に貼り付けて、郵送にて応募して下さい。(当日消印有効)

①題名 ②撮影者(氏名・住所・電話番号・年齢・職業(学校名))

③撮影場所 ④撮影年月日 ⑤作品の説明

〒191-8686 日野市神明1-12-1

環境共生部緑と清流課 あさかわ写真コンクール宛

☎ 042-585-1111 (代表) 内線 3631

募集用紙は、緑と清流課と市の主要施設に用意しておりますのでお問合せください。

また、市ホームページからもダウンロードできます。

(K・A)

た、小学生の「クラスメート」たちは時には農作業そっちのけで水路のカエルや魚を追いかけて走り回っています。彼らにとって「田んぼ」は毎日通う小学校よりも面白くてためになる「学校」なのかも

しれません。これから梅雨が明けると、炎天下での草刈や網掛けといった大変な作業が待っています。年末の収穫祭を楽しみにしつつ、頑張っ

て作業に励みたいと思います。「田んぼの学校」の活動を支えて下さっている地元農家の先生方、中央公民館のみなさん、JA関係者の方々、そして学校役員のみなさん、これから私たち「生徒」へのご指導をよろしく願います！
(田んぼの学校 石黒 努)